

電 力 情 報

NO. 4

平成 23 年 4 月 28 日
東 北 電 力 (株)

3 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

3 月分の販売電力量は、62 億 2,700 万 kWh、対前年比 86.0% の実績となり、3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響などから、平成 21 年 11 月分以来、16 カ月ぶりに前年実績を下回りました。

これを用途別にみますと、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、オール電化住宅の増加などがあったものの、東日本大震災の影響などから、対前年比 98.2% の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 98.3% の実績となりました。

特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、東日本大震災の影響などから対前年比 85.5% と、前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 77.8% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、生産水準の回復などから底堅い動きを示しておりましたが、東日本大震災の影響により、対前年比 69.9% の実績となり、平成 21 年 11 月分以来、16 カ月ぶりに前年実績を下回りました。

2. 供給力について（表 - 2 参照）

3月の発受電電力量の合計は、67億2,900万kWh、対前年比83.8%の実績となり、3月11日に発生した東日本大震災の影響などにより、平成21年11月以来、16ヵ月ぶりに前年実績を下回りました。なお、今回の対前年比83.8%につきましては、月間の発受電電力量としては過去最大の割れ幅となります。

（自社水力）

出水率は77.4%の濁水となりました。

前年との出水率の違いなどにより、発電量は、前年を2億1,800万kWh下回る5億8,800万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を3億1,600万kWh上回る43億5,600万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響により、女川原子力発電所の全号機が停止したことや、前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を17億2,100万kWh下回る3億5,400万kWhとなりました。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2,600万kWh下回る7,200万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所が停止したことや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を7億1,500万kWh下回る12億2,700万kWhとなりました。

以上